

# 北海道ゴルフ選手権



◇10日◇札幌・札幌エルクCC◇全長9515ヤード、パー4◇出場者100人  
 沢田幸一郎(70歳)が松井五十二(73歳)と、73歳組のプレーオフ(以下PO)を戦い、ルーキーイヤーで初優勝した。5オーバーで並んだが、プレーオフ(PO)1ホール目沢田がボギーで逃げ切った。マッチング・スコアカード方式で上位4人に日本グランプリシニア選手権11月10、11日、三重・スリーレイクスCC)ねんりんビックに登録している北海道・札幌市のJGA/USGAハンディキャップインデックス25.4以下の上位3人、ねんりんビック長崎2016(10月11日、長崎・パサーージュ海アイランドGC)出場権が与えられた。

# 初優勝



初優勝した沢田は「NO・1ポーズで喜んで、雨の中、爽快なティショット」

# 元甲子園球児ルーキーイヤー飾る

◆道 GRAND シニアゴルフ成績

| 順位 | 選手名   | (所) | 歳  | スコア |
|----|-------|-----|----|-----|
| 1  | 沢田幸一郎 | 北海道 | 70 | 46  |
| 2  | 松井五十二 | 北海道 | 73 | 46  |
| 3  | 石川正樹  | 北海道 | 70 | 47  |
| 4  | 藤田正典  | 北海道 | 70 | 47  |
| 5  | 藤田正典  | 北海道 | 70 | 47  |
| 6  | 藤田正典  | 北海道 | 70 | 47  |
| 7  | 藤田正典  | 北海道 | 70 | 47  |
| 8  | 藤田正典  | 北海道 | 70 | 47  |
| 9  | 藤田正典  | 北海道 | 70 | 47  |
| 10 | 藤田正典  | 北海道 | 70 | 47  |
| 11 | 藤田正典  | 北海道 | 70 | 47  |
| 12 | 藤田正典  | 北海道 | 70 | 47  |
| 13 | 藤田正典  | 北海道 | 70 | 47  |
| 14 | 藤田正典  | 北海道 | 70 | 47  |
| 15 | 藤田正典  | 北海道 | 70 | 47  |

「集中力切れた」  
 ●POで敗れた松井は「疲れた。集中力が切れた」と肩を落とした。PO初戦の緊張はなかったが、ティショットは左のフェアウエイバンカーへ。2打目が土手に当たり、8打目で脱出も4オン、ツーバットのダブルボギーで力尽きた。7年前の日本ミッドシニアは初日2位発進も、その夜に腹痛出血。「片日でプレーしたが全然ダメだった。もう1度全国行きたいと思っていたので、グランプリシニアでもう1回優勝」と、気持ちを切り替えていた。



●ティショットを放つ松井  
 ●高橋は安定したティショットを放つ

「後半気合」で36  
 ●雨の中、前半8ボギー(42)の斉藤俊(73=北海道)が、後半は「別人」になった。1パーディー、1ボギーの36で3位に食い込んだ。「自分の調子より、今日は天候かな。前半が良かったので後半に気合が入った」。過去4度出場し、入賞が3度目という「高打率」。日本グランプリシニアに向けて「自分のゴルフをして」と平常心で戦うつもりだ。

◆札幌1位の山口次雄(68=札幌スコットヒル)友人のねんりんビックのマーシャンで出場の楽しいので、一緒に行けるのが楽しみだ。

◆北海道1位の黒沢栄一(63=オホーツク)ねんりんビックはマラソンを含め4年連続で「自分のゴルフをして」と平常心で戦うつもりだ。

◆42歳から競技 ●沢田幸一郎(70=北海道)は、42歳からゴルフを始めた。オホーツク県立高等学校で野球をプレーしていた。18歳で、プロ野球選手を目指していた。

◆4位タイの佐藤常雄(74)シニヤムロック(17番)パー4でパーディーを取った。唯一あれだけ良いショット、全国では珍しい。

◆4位タイの佐藤常雄(74)シニヤムロック(17番)パー4でパーディーを取った。唯一あれだけ良いショット、全国では珍しい。

バンカー脱出  
 無心で戦った。沢田にとって初のPO。緊張を感じる間も

PO1ホール目決着まさかこんなことになるとは...

強い雨が降り続いた。午前9時40分には、最悪組のスタートを戦い、競技が中断。再開したのは、2時間15分後の午前11時58分だった。競技第1日の沢田も「過去にすこい雨は経験しているが、8本の指に入る」と驚いたが、悪条件でも気持ちはずれなかった。再開時、9ホールを終えていて4オーバー40で折り返していた。後半から同伴者が1人になり「テンポよく回れた」というように、7番(パー18)で55ヤードを打ち、パーディー(2番)5番(パー4)は2打目の8番アイアンでピン和音につけ、東タパーディーで37をマークした。

本格的に競技を始めたのは、53歳。もともと「野球人」で、園田工時代の33年夏甲子園に遊撃手として出場。その後、北海道の前身、札幌鉄道局(通称・札幌)でプロ野球。この引退後やめておこなったので「ゴルフを始めた」というが、キムは甲子園3回の優勝下するほど熱中している。

思いがけず、ルーキーイヤーで優勝をつかんだ新チャンピオン。日本グランプリシニアは、出るからには優勝。でもその前に仕事の調整が、「と、慣みながらも、顔は笑っていた」。

◆4位タイの佐藤常雄(74)シニヤムロック(17番)パー4でパーディーを取った。唯一あれだけ良いショット、全国では珍しい。

◆4位タイの佐藤常雄(74)シニヤムロック(17番)パー4でパーディーを取った。唯一あれだけ良いショット、全国では珍しい。